



水難救済ボランティアの応援団としての 賛助会員へのご入会のお願い



海で遭難した人々の救助を行う民間ボランティア団体、それが公益社団法人日本水難救済会です。

沿革

明治22年11月3日 讃岐琴平の地で大日本帝国水難救済会 発会
 明治23年4月 有栖川宮威仁親王殿下を初代総裁に推戴
 明治29年 本会事業の国家経営の建議案が貴・衆両院を通過、毎年補助金下付決定
 明治31年11月 社団法人 大日本帝国水難救済会登記
 明治37年3月 社団法人 帝国水難救済会と改称
 大正2年8月 伏見宮依仁親王殿下を二代総裁に推戴
 大正11年8月 伏見宮博恭王殿下を三代総裁に推戴、昭和21年3月ご退任
 大正13年、昭和3年、7年、11年、50年、58年、62年、平成3年開催の国際水難救済会議に出席
 昭和14年11月 東京九段軍人会館で、本会創立50周年記念式典を挙げる
 昭和24年4月 社団法人 日本水難救済会と改称
 昭和25年7月 青い羽根募金開始
 昭和60年10月 洋上救急事業開始
 昭和63年9月14日 特定公益増進法人に指定
 平成元年11月3日 本会創立100周年、11月27日に記念式典を挙げる
 平成9年6月12日 各支部の地方組織としての独立化作業を開始
 平成13年2月14日 全臨海都道府県41ヶ所に地方組織を整備
 平成13年7月25日 高円宮憲仁親王殿下を初代名誉総裁に推戴
 平成14年11月21日 名誉総裁高円宮憲仁親王殿下 薨去
 平成15年2月19日 憲仁親王妃久子殿下を二代名誉総裁に推戴
 平成19年6月 国際海難救助連盟 設立総会に出席
 平成23年4月 公益社団法人へ移行



公益社団法人 日本水難救済会

<http://www.mrj.or.jp>
suikyuu@mrj.or.jp

Tel 03-3222-8066
 Fax 03-3222-8067

海難救助は一刻を争うことから、海上保安庁や市町村から救助要請があったときには、当該海域を漁業やマリレジャー活動の場とし、現場を熟知している地元の救難所員（地方水難救済会に所属する救難所員）がボランティアベースで自発的に現場に急行し、自らの危険や困難を克服しながら救助活動に当たっています。

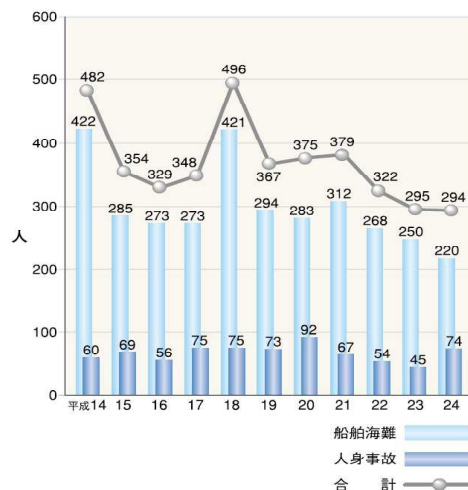
このように、各地方水難救済会は海上保安庁や沿岸地方自治体の消防・警察のような国や地方の沿岸における海難救助体制を補完する民間救助勢力であり、官民一体となった我が国沿岸海域における海難救助体制をの一翼を担っており、現在全国の臨海都道府県にて41団体設置されています。

各地方水難救済会は、漁協やマリナーなどに救難所や救難支所を設置し、海上保安庁等からの救助出動要請に応じており、平成25年3月31日現在、救難所及び救難支所は総計1,298カ所設置され、それに属する救難所員は約5万4千人を数えています。明治22年の本会設立からこれまでに39,432隻、195,172人の救助実績を誇っています。

これらのボランティア救助員が行う、不特定多数の者に対する水難救済活動の円滑化と発展を図るために、皆様方の応援を心よりお願い致します。

賛助会員の皆様には、毎年2回発行の会報誌「マリレスキュージャーナル」を無料で配布するほか、当会の名誉総裁高円宮憲仁親王妃久子殿下御台臨のもと開催される名誉総裁表彰式典及び懇親会にご案内させていただいております。

■日本水難救済会海難救助人命数の推移



■日本水難救済会出動件数の推移

